

入院診療計画書 「 橈骨遠位端骨折でご入院の

さんへ」

(病名)	(症状)	(説明日)	年 月 日	(ご本人・ご家族)	確認サイン	
経過 月 日	入院時 /	手術前日 /	手術当日 /	術後1日目 /	2日目 /	3日目 /
到達目標						
治療 処置 リハビリ テーション	骨折したほうの腕をマットにのせて高くします。 ギプスシーネ等で固定 必要に応じて麻酔科医の診察又は内科その他の科の診療があります。	薬剤でアレルギーがないかの問診を行います。 	朝10時頃から点滴を行います。 術衣に着替えます。	手術後の点滴は気分不良がなければ、術後の抗生剤終了後に抜きます。 	手術をしたところのガーゼを交換します。 手術部位に入っていたドレーンを抜きます。	創部の付け替えを行います(創部をフィルム材で保護します)。 リストサポーターを装着します。 関節運動を開始します。 退院です。 * 病状によっては退院日が変更になる場合があります。
手術	□無 ・ □有 (術式:)					
検査	入院時に次の検査があります。(必要時) 血液・尿・心電図・肺機能・レントゲン					
薬剤 服薬指導	日頃から飲んでいる薬やアレルギーを起こすがあればお知らせ下さい。	就寝前に下剤を飲む場合があります。 眠れない時はご相談下さい。		抗生剤の点滴があります。 		
全身管理 症 状	今までかかった病気等についてお伺いします。 骨折した方の腕や指の動き・しびれの有無、腫れをみます。 血圧・脈拍・体温を測ります。	血圧・脈拍・体温を測ります。 	手術部位の痛みの他、頭痛吐き気などあればお知らせ下さい。 血圧・脈拍・体温を測ります。	痛みがあればお知らせ下さい。 血圧・脈拍・体温を測ります。		血圧・脈拍・体温を測ります。 
食事 栄養指導	特別な栄養管理の必要性 □有 ・ □無 お身体の状況に応じて栄養状態を良くするための支援を行います。 普通食又は治療食です。	24時以降食べたり飲んだりできません。 	手術後、飲水できます。気分不良なければ食事開始となります。(医師の指示で)	普通食です。		
安静度	特に制限はありません。骨折している方の腕はマットに乗せて高くしておきます。		病室へ戻ってからは手術した腕を高くします。ふらつきがある場合は車椅子を使用してください。	手術した方の腕の腫れがとれてきたら三角巾をつけてトイレに歩いて行くことができます。		
清潔	ギプスシーネを濡らさないように保護し、シャワー浴を行います。	シャワー浴を行います。	なし	身体を拭きます。	シャワー浴が できます。	
患者・家族 への説明	主治医が入院中の診療計画や手術について説明します。 看護師が入院生活について説明します。 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください。	手術同意書を提出して下さい。 手術の必要物品を確認します。 手術室の看護師が訪問し、手術について説明します。 	手術終了後、主治医よりご家族の方へ手術の結果について説明します。			主治医から今後の治療と通院について説明があります。 退院手続き、退院後の注意事項、次回外来受診についての説明があります。 看護師から退院後の生活上の注意点などについて説明します。 ※退院は原則的に午前中に 願いたします。

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名